

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 プラザクリエイト
 コード番号 7502 URL <http://www.plazacreate.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大島 康広

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 黒松 達

TEL 03-3222-3265

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	15,201	△8.6	629	△29.8	784	△25.1	681	△31.0
22年3月期第3四半期	16,626	△7.7	897	40.9	1,047	30.4	986	13.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	158.14	—
22年3月期第3四半期	209.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	14,837	4,879	32.9	1,216.14
22年3月期	13,003	4,550	35.0	1,004.97

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 4,879百万円 22年3月期 4,550百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	△3.2	350	16.2	500	0.3	400	15.1	88.33

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期3Q	6,132,582株	22年3月期	6,132,582株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	2,120,496株	22年3月期	1,604,357株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期3Q	4,307,117株	22年3月期3Q	4,721,071株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第3四半期連結累計期間】	7
【第3四半期連結会計期間】	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成22年4月1日から平成22年12月31日まで)におけるわが国経済は、企業の景況感は緩やかな回復基調にあるものの、厳しい雇用環境やデフレの状況が続くなか、景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。国内写真関連市場においては、消費低迷の影響もあり、プリント需要の減少など厳しい経営環境が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、第3四半期最大の商機である年賀状プリントにおいて、デザインが千種類を越えるプリントメニューの拡充、システム改良によるネット受注の強化などにより、当社グループの年賀状プリント総受注枚数は、店舗数の減少にもかかわらず、5,159万枚(前年同期比1.7%増)の実績を確保することができました。また、オリジナルデジタルカメラ「Dシリーズ」の販売を手掛け、写真プリントの需要喚起に努めるとともに、一部の店舗においてiPhoneの販売を開始いたしました。

一方、新たな事業の柱としてモバイル事業を位置付け、恵比寿、千葉、市ヶ谷などにイー・モバイルショップなどのモバイル販売店4店舗を新たに开店いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、152億1百万円(前年同期比8.6%減)となりました。利益面では、年賀状プリント受注の貢献及び引続き経費圧縮に努めた結果、営業利益6億29百万円(前年同期比29.8%減)、経常利益7億84百万円(前年同期比25.1%減)、四半期純利益6億81百万円(前年同期比31.0%減)となりました。

セグメント別では、イメージング事業は、売上高122億74百万円、セグメント損益は8億4百万円の利益となりました。

モバイル事業は、売上高23億76百万円、セグメント損益は18千円の損失となりました。

その他の事業は、売上高5億50百万円、セグメント損益は19百万円の損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の状況

資産は、当第3四半期連結会計期間末の総資産の額は148億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億33百万円の増加となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金並びに預け金などの売上債権等の増加によるものであります。

負債は、当第3四半期連結会計期間末の負債の額は99億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億4百万円の増加となりました。主な要因は、仕入債務並びに短期借入金及び長期借入金の増加によるものであります。

純資産は、当第3四半期連結会計期間末の純資産の額は48億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億28百万円の増加となりました。主な要因は、四半期(累計)純利益などにより利益剰余金が5億91百万円の増加及び自己株式の取得2億54百万円などによるものであります。また、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末の35.0%から32.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2億52百万円増加し、21億22百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ5億21百万円減少し、29百万円の支出(前年同期 4億92百万円の収入)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益の減少2億93百万円(前年同期比29.3%減)、売上債権の増加及び仕入債務の減少による支出の増加等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ11億3百万円増加し、3億92百万円の支出(前年同期 14億95百万円の支出)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出の減少8億77百万円(前年同期 12億13百万円の支出)等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ37百万円減少し、6億80百万円の収入(前年同期 7億17百万円の収入)となりました。主な要因は、短期借入金及び長期借入金が増加(前年同期比4%増)し、自己株式の取得による減少額1億34百万円(前年同期比111.8%増)及び配当金の支払減少による増加額52百万円(前年同期比37.0%減)等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、第3四半期連結累計期間の業績は、年賀状商戦の需要等に取り組んだ結果、平成22年5月14日付け見通しどおり推移しており、現時点では、通期業績予想を変更しておりません。

なお、修正の必要が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

①市場価格のない株式の減損処理

市場価格のない株式の発行会社の財政状態が悪化しているかどうかの判断にあたっては、四半期連結会計期間末までに入手し得る直近の財務諸表を使用する方法によっております。

②たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切り下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味実現価額を見積り、簿価の切り下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

④固定資産の減損兆候の決定方法

減損の兆候にあたっては、前連結会計年度末以降に使用範囲又は方法について当該資産又は資産グループの回収可能価額を著しく低下させる変化を生じさせるような意思決定や、経営環境の著しい悪化に該当する事案が発生したかどうかについて留意し、兆候を把握するか否か決定する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益が3,702千円減少し、税金等調整前四半期純利益が42,914千円減少しております。

②連結財務諸表に関する会計基準の適用による表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,411,670	2,163,584
受取手形及び売掛金	1,388,278	605,179
商品及び製品	968,839	668,770
原材料及び貯蔵品	307,020	275,893
預け金	1,466,127	397,350
その他	660,635	637,912
貸倒引当金	△131	△30
流動資産合計	7,202,440	4,748,661
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,643,213	2,803,722
減価償却累計額	△1,888,999	△2,069,643
建物及び構築物(純額)	754,214	734,078
機械装置及び運搬具	6,012,286	6,240,178
減価償却累計額	△4,636,767	△4,283,412
機械装置及び運搬具(純額)	1,375,518	1,956,765
土地	1,348,624	1,348,624
その他	1,445,533	1,335,166
減価償却累計額	△1,122,385	△1,026,082
その他(純額)	323,147	309,084
有形固定資産合計	3,801,504	4,348,552
無形固定資産		
のれん	40,517	63,963
その他	421,467	401,737
無形固定資産合計	461,984	465,701
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,683,542	2,745,049
その他	1,006,680	1,055,235
貸倒引当金	△318,945	△359,392
投資その他の資産合計	3,371,277	3,440,892
固定資産合計	7,634,767	8,255,146
資産合計	14,837,207	13,003,808

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,115,500	607,902
短期借入金	3,699,400	2,785,292
1年内償還予定の社債	70,000	140,000
未払法人税等	30,680	38,037
賞与引当金	34,570	68,180
ポイント引当金	58,200	89,700
その他	1,094,009	761,361
流動負債合計	6,102,360	4,490,474
固定負債		
長期借入金	2,642,401	2,461,302
退職給付引当金	481,799	564,080
負ののれん	66,494	265,977
長期預り保証金	544,815	609,525
その他	120,060	61,706
固定負債合計	3,855,570	3,962,592
負債合計	9,957,931	8,453,066
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,017,880	1,017,880
資本剰余金	265,346	265,346
利益剰余金	5,015,596	4,424,127
自己株式	△1,398,623	△1,144,046
株主資本合計	4,900,198	4,563,307
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△20,922	△12,565
評価・換算差額等合計	△20,922	△12,565
純資産合計	4,879,276	4,550,741
負債純資産合計	14,837,207	13,003,808

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	16,626,269	15,201,392
売上原価	7,947,199	7,172,541
売上総利益	8,679,070	8,028,850
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	822,496	825,086
給料手当及び賞与	1,152,262	1,193,506
賞与引当金繰入額	33,520	36,132
雑給	1,728,112	1,550,494
賃借料	1,222,433	1,155,787
のれん償却額	35,412	34,231
その他	2,787,484	2,603,919
販売費及び一般管理費合計	7,781,722	7,399,158
営業利益	897,347	629,692
営業外収益		
受取利息及び配当金	4,044	3,487
負ののれん償却額	199,483	199,483
その他	33,427	58,906
営業外収益合計	236,955	261,876
営業外費用		
支払利息	68,588	77,141
その他	18,697	30,006
営業外費用合計	87,286	107,148
経常利益	1,047,017	784,420
特別利益		
固定資産売却益	34,056	26,257
貸倒引当金戻入額	4,619	1,657
償却債権取立益	2,041	16,283
受取補償金	300	17,000
特別利益合計	41,016	61,198
特別損失		
減損損失	61,009	49,309
固定資産除却損	13,761	39,683
店舗閉鎖損失	11,517	4,459
賃貸借契約解約損	2,336	17,607
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	28,455
特別損失合計	88,624	139,516
税金等調整前四半期純利益	999,408	706,102
法人税、住民税及び事業税	26,685	26,400
法人税等調整額	△13,997	△1,418
法人税等合計	12,688	24,981
少数株主損益調整前四半期純利益	—	681,120
四半期純利益	986,720	681,120

【第3四半期連結会計期間】

(単位:千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	7,011,857	6,725,815
売上原価	2,861,739	2,655,477
売上総利益	4,150,118	4,070,337
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	466,552	468,709
貸倒引当金繰入額	—	1,698
給料手当及び賞与	360,906	363,313
賞与引当金繰入額	33,520	36,132
雑給	621,303	568,281
賃借料	446,416	410,925
のれん償却額	11,804	12,728
その他	1,031,080	943,614
販売費及び一般管理費合計	2,971,584	2,805,403
営業利益	1,178,534	1,264,933
営業外収益		
受取利息及び配当金	481	1,186
負ののれん償却額	66,494	66,494
その他	12,522	23,401
営業外収益合計	79,497	91,082
営業外費用		
支払利息	24,520	28,060
その他	5,748	9,447
営業外費用合計	30,269	37,507
経常利益	1,227,762	1,318,507
特別利益		
固定資産売却益	—	7,380
貸倒引当金戻入額	1,098	—
償却債権取立益	160	5,721
特別利益合計	1,258	13,102
特別損失		
減損損失	8,663	21,956
固定資産除却損	3,260	19,101
店舗閉鎖損失	2,255	1,643
賃貸借契約解約損	—	6,877
特別損失合計	14,178	49,578
税金等調整前四半期純利益	1,214,842	1,282,031
法人税、住民税及び事業税	10,334	9,442
法人税等調整額	△7,413	△3,031
法人税等合計	2,921	6,411
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,275,620
四半期純利益	1,211,920	1,275,620

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	999,408	706,102
減価償却費	1,043,163	874,500
減損損失	61,009	49,309
のれん償却額	35,412	34,231
負ののれん償却額	△199,483	△199,483
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,619	276
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△48,565	△82,281
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△63,800	△31,500
受取利息及び受取配当金	△4,044	△3,487
支払利息	68,588	77,141
固定資産売却損益(△は益)	△34,056	△26,257
固定資産除却損	13,761	39,683
売上債権の増減額(△は増加)	△609,794	△779,281
預け金の増減(△は増加)	△1,068,547	△1,068,777
たな卸資産の増減額(△は増加)	△281,425	△324,207
仕入債務の増減額(△は減少)	679,321	507,597
その他	651	301,520
小計	586,981	75,088
利息及び配当金の受取額	4,803	4,162
利息の支払額	△62,948	△75,406
法人税等の支払額	△36,213	△33,175
営業活動によるキャッシュ・フロー	492,622	△29,331
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△89,000	4,500
有形固定資産の取得による支出	△1,213,534	△335,642
有形固定資産の売却による収入	56,369	43,845
無形固定資産の取得による支出	△214,527	△129,862
投資有価証券の取得による支出	△2,745	△5,367
貸付けによる支出	△1,800	—
貸付金の回収による収入	16,011	1,785
その他	△46,371	28,638
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,495,598	△392,102
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,371,520	1,050,440
長期借入れによる収入	1,000,000	1,800,000
長期借入金の返済による支出	△1,320,383	△1,755,233
社債の償還による支出	△70,000	△70,000
自己株式の取得による支出	△120,191	△254,577
配当金の支払額	△142,985	△90,017
財務活動によるキャッシュ・フロー	717,960	680,612
現金及び現金同等物に係る換算差額	△270	△6,592
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△285,285	252,585
現金及び現金同等物の期首残高	2,194,859	1,870,084
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,909,573	2,122,670

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、グループ会社ごとに製品・サービス別の事業活動を展開しております。したがって、当社グループの事業単位は、グループ会社別のセグメントから構成されており、主要事業として「イメージング事業」、「モバイル事業」の2つを報告セグメントとしております。

「イメージング事業」は、DPEショップの経営とフランチャイズの展開並びにWebサイトを運営し、主にデジタルプリントサービス及び写真関連商材等を販売しております。「モバイル事業」は、携帯ショップを運営し、携帯端末等を販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	イメージ ング	モバイル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,274,204	2,376,824	14,651,028	550,364	15,201,392	-	15,201,392
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,667	539	15,206	24,610	39,816	△39,816	-
計	12,288,871	2,377,363	14,666,235	574,974	15,241,209	△39,816	15,201,392
セグメント利益又は損失(△)	804,066	△18	804,047	△19,488	784,559	△138	784,420

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プライダル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「イメージング事業」セグメントにおいて、店舗について過去2期連続赤字店舗を対象に帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては49,231千円であります。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	金額(千円)	前年同四半期比(%)
イメージング事業	9,464,995	△11.0
合計	9,464,995	△11.0

(注) 1. 上記の金額は、販売価格によっております。

2. 前年同期比は、前四半期連結会計期間の部門別を当四半期連結会計期間の報告セグメントの方法により区分した上で比較しております。

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 仕入実績

当第3四半期連結累計期間における仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	金額(千円)	前年同四半期比(%)
イメージング事業	1,511,636	△10.5
モバイル事業	1,982,635	0.2
合計	3,494,272	△4.7

(注) 1. 前年同期比は、前四半期連結会計期間の部門別を当四半期連結会計期間の報告セグメントの方法により区分した上で比較しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注状況

当第3四半期連結累計期間は受注実績がないため記載は行っておりません。

(4) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	金額(千円)	前年同四半期比(%)
イメージング事業	12,274,204	△11.1
モバイル事業	2,376,824	2.3
その他	550,364	9.9
合計	15,201,392	△8.6

(注) 1. 前年同期比は、前四半期連結会計期間の部門別を当四半期連結会計期間の報告セグメントの方法により区分した上で比較しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. イメージング事業では、第3四半期連結会計期間において、主として年賀ポストカード等のプリント製品の需要が集中して発生するため、第3四半期連結会計期間の売上高は、他の四半期連結会計期間の売上高と比べ著しく高くなる傾向にあります。